

特定非営利活動法人Cafe de 寺子屋

▼ 活動概要

私たちは、地域のカフェをお借りして寺子屋を開催しています。寺子屋では、小学生から高校生と大学生と一緒に自学自習に取り組みます。

寺子屋や組織の運営は大学生のスタッフが中心に行い、社会人のスタッフはそのサポートをしています。

▼ 寺子屋のようす

寺子屋で子どもたちが行うことは、**自主学习 (Self-Directed Learning)** と対話です。

寺子屋では、一人で学ぶ時間が基本です。子どもたちは、自身の持ってきた教材や本について学習します。**学習の目的やその日に何をどのくらいやるかは自分で決めて、スタッフと共有します。**

子どもたちがスタッフと対話をして学ぶ時間はあまり長くありません。しかし、そのわずかな時間の中でスタッフは子どもたちが学びを振り返る・新しい視点で考える**きっかけを提供**しています。

加えてスタッフは、子どもたちと関わる時以外にも、子どもたちの学習の様子をじっくり観察したり、みんなが心地よく学べる環境をつくるために席の配置や声の大きさなどに配慮 (coordinate) したりしています。



▼ 全国の寺子屋

私たちは、「**地域に根づいた学びの場を日本全国につくる**」ことを目標にしています。

現在は、福島・東京・神奈川・山梨・静岡・岐阜・高知の**7都県に12ヶ所**の寺子屋があります。これまで合計1,029回開催し、小学1年生から高校3年生まで延べ4,081人の子どもたちが参加しました。(2023/4/1時点)

▽ 開催例 ... 寺子屋あすは

日時：毎週金 16:30 - 18:00

場所：ASUHA (静岡県藤枝市若王子1丁目1-23)

席数：8席

実績：開催回数 40回

参加者の延べ人数 201人 (2023/4/1時点)

高校生のスタッフが中心に運営を行っています。

毎回、小学生が8名ほど参加しています。



▼ みなさんの声

子ども

”自分でできた”という感覚があって嬉しかった。
わからなくてもいいということを学んだ。

保護者の方

普段関わることのない大学生の方々に勉強以外のことも教えてもらえる。
子どもが自ら進んで自分自身で考えて学ぶ習慣が身につく場所。

スタッフ

子どもたちから学ぶことがたくさんあります。
アルバイトとは違い、対等な関係で子どもたちと関わっています。

カフェの方

子どもたちから、元気をもらえます。
地域の方々にも必要とされているように感じます。

▼ 団体のミッション

「みんなのことに、みんなが協力する社会の実現」をミッションとしています。また、学び支援活動を通して持続可能な開発目標SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」の達成に寄与していきます。

▼ 寺子屋の定義

寺子屋のコンセプト：

「地域でいちばん心地よく、自学自習ができる場所」

会場：カフェ

テーブルとイス、お手洗いや空調などが基本的にそろっており、お話をすることと黙々と集中できることが同時に成り立つ、ゆったり・のびのびとした空間であるため、子どもが自学自習(自主学习+対話)に取り組みやすい環境だと判断し、カフェを選択しました。

寺子屋の運営：大学生

当団体の理想とするお手伝いがしやすいのは、子どもたちと「違っているが、かけ離れていない」ような存在である大学生だと考えたためです。



▼ 寺子屋の教育

▼ 運営体制

寺子屋や組織の運営は大学生のスタッフ(約100名)が中心に行います。社会人のスタッフ(2名)は、そのサポートをしています。

▼ 活動資金

私たちは寺子屋の活動を、対立構造や上下関係のない、**家族や友だちのような横の関係**の中で取り組みたいと考えています。そのため、団体設立当初から、教育におカネを介入させないように活動してきました。具体的には、保護者さんや子どもたちから参加費をいただかない・会場となる場所は活動に賛同してくださった方からお借りする・活動は無償で行うということを徹底しています。

▼ お問い合わせ

Mail : info@cafe-de-terakoya.or.jp
TEL : 090-4113-1989 (事務所)
HP : <https://cafe-de-terakoya.or.jp/>



HP



Twitter